



半田高等学校 100周年

100年の伝統を誇る「半高」 でも我々が見つめているのは100年先の未来です

＜七中記念館(旧武道場)が新しい学びの場として再生＞



数十年ぶりに現れた屋根を支える鉄骨と木組みの美しいアンサンブル、
広さを確保したこの空間は、プレゼンテーションの場として、
そしてアクティブラーニングなどの新しい学びの場として再生します。

＜第二期のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)として指定＞

平成30年から5年間、第二期のSSH指定を勝ち取ることができました。
このプログラムにより、素晴らしい才能を見つけ、挑戦する心を養い、
そして実際に英国、タイなど海外に出向く生徒を倍増させます。



＜新しい大学選抜や学習指導要領にも対応できるカリキュラムに＞

実践的な
プラクティカルイングリッシュにより、SSHだけでなく新しい英語の試験方法に対応、
論理性のある文章術
探究Iのパラグラフライティングでは論述力を養います。



65分25コマ授業で、実質33単位分を確保しつつ、部活に余裕が生まれました。

＜「自学自治自鍛(自主自律)」の精神で生徒はいきいきと活動＞

1年間で最高の盛り上がりを見せるひいらぎ祭は9月に4日間。
文武両道、ヨット部や放送部をはじめ常に全国をねらう部活での成果。
学校生活への満足度は9割近くです。



＜平成30年度からの本校の時間割＞ ※ST=ショートタイム、LT=ロングタイム、ともにホームルームです

| | ST | 1限 | 2限 | 3限 | 昼休み | 4限 | 5限 | ST・清掃 | 6限(LT) | ST・清掃 |
|-----|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 月 | 8:40 | 8:50 | 10:05 | 11:20 | 12:25 | 13:05 | 14:20 | | 15:35 ～ 16:25 | 16:25 ～ 16:30 |
| 火～金 | 8:45 | 9:55 | 11:10 | 12:25 | 13:05 | 14:10 | 15:25 | 15:25 ～ 15:45 | | |

＜3月卒業生の合格者数＞

| | H28 | H29 | H30 |
|----------|-----|-----|-----|
| 東大 京大 | 10 | 8 | 5 |
| 名大 | 50 | 45 | 53 |
| 国公立 | 176 | 195 | 192 |



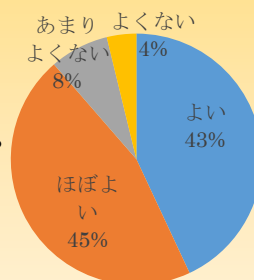
半田高校 3つの質問

Q 65分×5限授業、どんな様子？

A 「50分×6限（週2回7限）に比べて」のアンケート結果です。

（自由記述より）1日の授業時数が減り疲労感が少ない。荷物が軽くなった。まとまった範囲で学習できる。演習がしっかりできる。午前3限なので集中がきく。体育が楽しくできる。毎日終わりが揃う。集中が切れやすい時もある。進むのが速い。

9割の生徒がこの形を支持しています！演習、実験、実技、討論などこれから必要な学習も行いやすい特色があります。



Q 生徒たちの「のびのび度」はどれくらい？

A PTA新聞「あさあけ」（H30年7月17日）より

「遠足は本当に自由でした。…バスの座席やハイキングのコースを自分たちで決められたり川で遊べる自由時間があったりしました。だからこそ感じられた楽しさや、だからこそ生まれた絆があったと思います。／そんな中で僕が学んだのは、自由であるということの裏返し、つまり、自分の行動に責任を持つということです。…」（生徒）

「夏休み終了後、まだ暑い中行われるひいらぎ祭を、私は広報委員として3日間、見学というよりは密着させていただきました。すると何とということでしょう…教科書に埋もれて勉強に追われているイメージの彼らが、仲間達と共に活々と今までに掴んだ知識や業を使って、それは楽しそうに光って見えました。」（保護者）

「自学自治自鍛」は100年前本校の前身愛知七中が生まれたときの校長先生の言葉。本校では自ら考えて行動することを大切にしています。

Q 半高生は進学先をどうやって決める？

A 「先輩からの助言」（H30年3月版）より

「私は高校に入学した頃から、将来は法曹（弁護士など）になりたい、と考えていました。半田高校にて開催された『法曹と語る会』や『裁判所見学会』にも参加しました。しかし、それでも私の中では、法曹になる、という意思を固めることはできず、法曹以外の職業にも少なからず興味がありました。…法学部の中でも、法曹以外の職業へつくことにも特に強い名古屋大学を志願しました。」

「大学で何がしたいのかを考えたとき、とにかく厳しい環境で野球を続けてみたいと思い、条件に合致する学校を探したところ、東大か京大かに選択肢が絞られてしまったので、まだ受かる可能性のある京大を目指すことになりました。」

自らが高い志をもって進路実現を図ることを大事にしており、上記行事の他最先端大学（東大、京大）見学会や学部学科説明会などで進路決定をサポートしています。